

## 1.6 高潮の被害想定

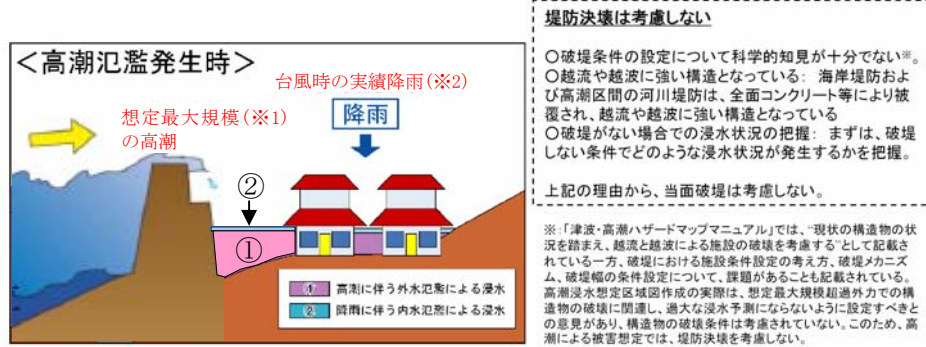
### 1.6.1 高潮の想定

- ・ 高潮の想定は、現時点の海岸及び河川堤防等の整備状況にて、現在の堤防水準を超え、かつ、起こり得る状況の高潮による大規模浸水時の被害を想定する。  
このとき、高潮発生時にも台風がもたらす降雨により内水はん濫が発生するおそれがあることから、降雨による内水はん濫も考慮することとする。
- ・ 高潮をもたらす台風の規模はわが国の観測最大規模の台風（伊勢湾台風：5915 台風）で設定する。
- ・ 台風の通過コースは、既往の主要な実績コースを平行移動させ、最大規模の高潮が発生するコースで設定する。
- ・ 想定する降雨の規模は、佐賀平野へ過去に接近した台風時の実績降雨をもとに設定する。
- ・ 想定する台風規模による高潮が発生する確率は非常に小さいが、現時点で考えられる最大の外力レベルを想定している。

表 1.6.1 高潮計算条件概要（高潮）

	項目	条件
外力条件	高潮外力	想定最大規模超過外力
	概要	日本に接近・上陸した台風の中で、最も勢力の強い台風（5915 台風+最悪コース）
	台風ルート	既往の主要な実績台風のコースを平行移動させ、各海岸に最大規模の高潮を発生させる代表コースを3ケース抽出
	想定潮位	朔望平均満潮位：HWL 2.66m
	想定偏差	最大 3.87 m
	想定波高	最大 3.48 m
降雨条件	降雨規模	既往の台風時実績降雨のうち、最大の内水氾濫が発生し得る降雨
	降雨波形	199708 台風時降雨（H9. 6. 27～28）

- 高潮に伴う外水氾濫・・・想定最大規模の高潮に伴う越波・越流による
- 降雨に伴う内水氾濫・・・佐賀平野へ過去に接近した台風時の実績降雨による



※1:台風規模は、わが国の観測最大規模の台風(伊勢湾台風:5915台風)で設定。台風の通過コースは、既往の主要な実績コースを平行移動させ、最大規模の高潮が発生するコースで設定。

※2:降雨規模は、既往の台風時実績降雨を踏まえ、内水氾濫が発生し得る降雨で設定。

図1.6.1(1) 想定する氾濫外力

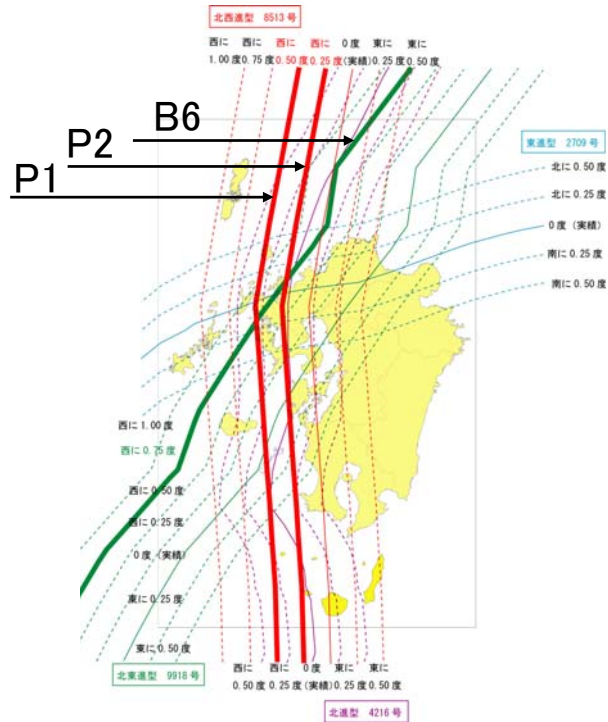


図1.6.1(2) 外力条件(高潮)

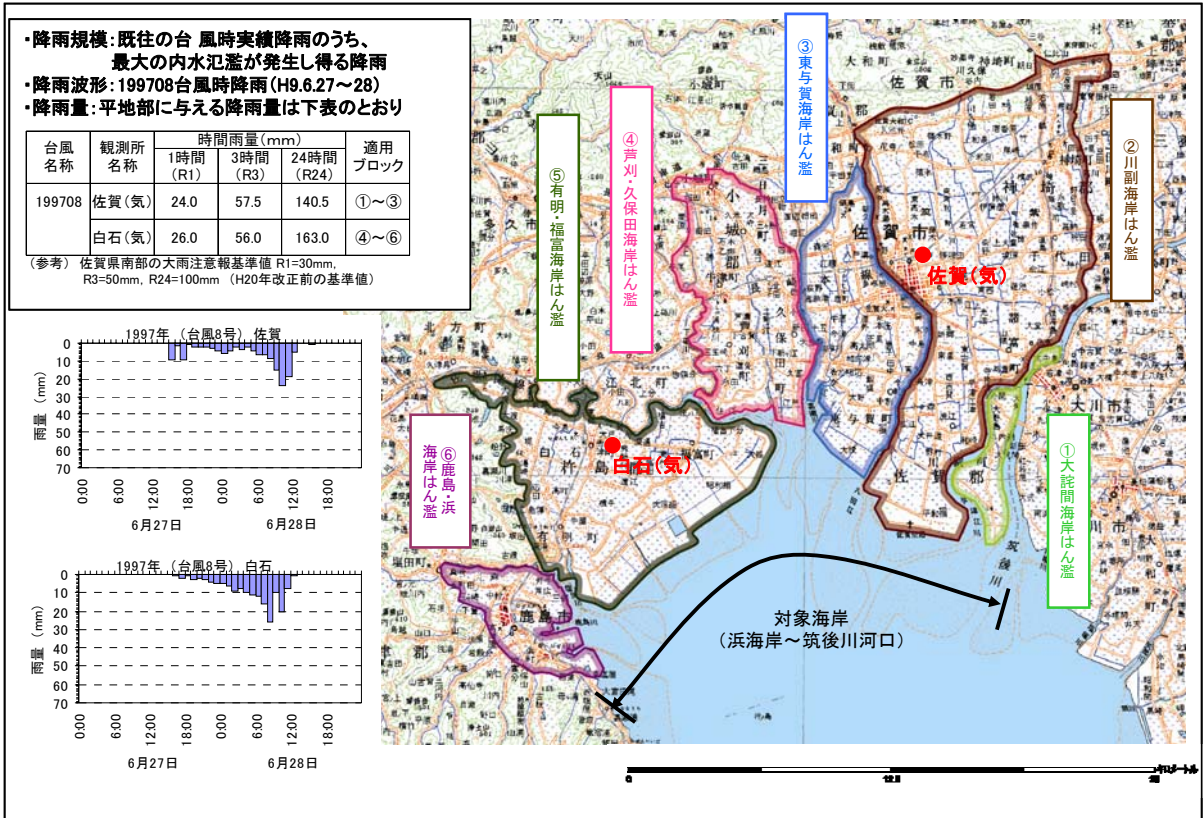


図 1.6.1 (3) 降雨条件 (高潮)

### 1.6.2 浸水想定のお考え方

- ・ 避難誘導、救助活動等の具体的な応急対応策は、浸水被害特性によって異なってくることから、類似のはん濫形態を持つ区域をはん濫ブロックとして分類し、各ブロックの区間毎に浸水状況を想定する。
- ・ なお、はん濫ブロックは、高潮に伴うはん濫水が拡散する区域をさし、堤防や道路などのはん濫水の拡散をさえぎる盛土などで囲まれた区域を設定している。
- ・ 高潮に伴うはん濫は、高潮によって発生する越波や越流による越水はん濫を考慮することとし、堤防決壊による破堤はん濫は考慮しない。

(注) 想定堤防越水箇所は、特に他の場所と比較して越水の危険性が高いことを示すものではない。

高潮のはん濫ブロックおよび想定越水箇所は、以下のとおりとした。

